

福島県 工業クラブ 会報

令和7年3月



会報の発刊によせて

福島県工業クラブ会長 **相馬 克良**

(福島キャノン株式会社 代表取締役社長)

会員企業の皆様におかれましては、令和7年度を迎えるに当たり、志を新たに社業発展に邁進のことと拝察いたします。新年度が皆様にとって実り多い年でありますことを心より御祈念申し上げます。

さて、本会におきましては、令和元年以来5年ぶりに県外の企業の視察を行うことができました。久しぶりに県外企業へ視察に赴き新たな気づきも得られ、交流の機会の重要性を改めて感じたところでもあります。

また、昨今の工業界においては、円安や国の政策等の影響もあり国内回帰の動きが見られる一方、カーボンニュートラルやDXへの対応、物価の高騰や従業員の確保など、どの企業にとっても共通の課題が山積しております。本会の活動は、これらの問題の解決に向けての情報収集に重要なものであり、今後も効果的な活動を展開してまいりますので、本会の活動へ積極的な参加をお願い申し上げます。

結びに、会員企業の益々の御隆盛を御祈念申し上げまして、御挨拶とさせていただきます。

CONTENTS

福島県工業クラブ会長あいさつ……	1	会員企業紹介コーナー……	7
通常総会……	2	第70回福島県発明展表彰……	7
視察研修会……	3	新規会員紹介コーナー……	8
新年研修会……	6		

通常総会

開催日 ▶ 令和6年7月12日(金)

場 所 ▶ ホテルハマツ

通常総会

講演会

演題：「**岐阜の町工場の企み in 双葉**」

講師：浅野撚糸株式会社 代表取締役 浅野 雅己

懇談会

令和6年7月12日(金)、郡山市の「ホテルハマツ」において、令和6年度福島県工業クラブ通常総会を開催しました。

総会では、令和5年度事業報告及び収支決算報告、並びに令和6年度事業計画及び収支予算について審議の上、承認をいただきました。

なお、令和7年度の通常総会は7月ごろいわき市での開催を予定しております。開催日時等については決まり次第御案内いたします。

講演会では、「岐阜の町工場の企み in 双葉」と題し、浅野撚糸株式会社 代表取締役社長 浅野雅己様から御講演をいただきました。双葉に進出を決めた経緯や福島の復興への情熱を御講演いただき、会員企業にとっても実りある時間となりました。

引き続き開催された懇談会では、和やかな雰囲気でお話いただき、会員相互の情報交換を行いました。



視察研修会

工業クラブでは、国内外の地域開発状況や産業支援施策の先進地域、高度な産業技術を有する企業等を視察調査することにより、本県産業開発の推進と当クラブにおける今後の事業活動の参考にすることを目的に、毎年視察研修事業を実施しています。

今年度の視察研修は、会員の皆様の御要望を踏まえ、中国地方の企業3社を選定し、令和6年11月28日(木)～29日(金)の日程で実施しました。

視察研修1日目

マツダ株式会社 防府工場 (西浦地区)

所在地 ▶ 山口県防府市

事業内容 ▶ 乗用車の製造・販売

研修1日目の午前にはマツダ株式会社様の防府工場(西浦地区)を見学しました。

マツダ株式会社 防府工場(西浦地区)では1982年の操業開始以降40年以上自動車の組立を行っております。

同社においては、お客様の注文に応じ生産計画し計画順序通り生産する「計画順序生産」や1つのレーンで複数の車種を組み立てる「多品種混流生産」、従業員が率先して取り組んでいる「カラクリ改善(自己研鑽活動)」の成果等を見学させていただきました。

計画順序生産・多品種混流生産は、マツダ独自の取組であり、同じラインでいろいろな車種を作れるようにすることで、より少ない設備・人員でクルマ作りが可能になる生産方法です。今後人手不足が更に加速していく中、参加いただいた企業様にとっても非常に参考になる取組だったと思います。



視察研修1日目

戸田工業株式会社 大竹事業所・大竹創造センター

所在地 ▶ 広島県大竹市

事業内容 ▶ 機能性顔料・電子素材の製造販売

研修1日目の午後は戸田工業株式会社様の大竹事業所・大竹創造センターを見学しました。同社は200年の歴史を持つ化学素材メーカーで、「酸化鉄」においては日本ナンバーワンの企業です。同社は2023年で創業から200年、会社設立から90年を迎えており、それを記念して設置されたショールームで会社の歴史を御紹介いただき、スマートフォン等に活用されているフェライトシートの製造工程等を見学させていただきました。戸田工業様の10年以上先の未来を見据えて開発・製造を行っている様子を実際に見学させていただき、参加いただいた企業にとっても多くの学びがありました。



視察研修2日目

ローツエ株式会社

所在地 ▶ 広島県福山市

事業内容 ▶ 半導体・FPD関連装置等

研修2日目はローツエ株式会社様を見学しました。

同社は「世の中にないものをつくる」という社訓を掲げ、半導体のウエハ搬送ロボットの分野では世界トップクラスの技術力・シェアを誇っている企業です。

社長も社員と同じ執務室で社員の相談に乗りながら開発に携わっているという話を伺い、参加いただいた企業にとって社内の体制について改めて考える機会になりました。

また、スピードが要求される半導体業界においてトップシェアを誇る技術がどのように生み出されているのか、製品が開発・製造されているクリーンルーム等を実際に見学させていただきました。



新年研修会

日時 ▶ 令和7年1月29日(水) 16:00～19:30

場所 ▶ エルティ ウェディング・パーティ エンポリウム

講師 ▶ 株式会社東邦銀行 専務取締役 遠藤 勝利 様

演題 ▶ 「企業価値向上に向けたコーポレートガバナンスの取り組み」

講師には、株式会社東邦銀行 専務取締役 遠藤勝利様をお迎えし、「企業価値向上に向けたコーポレートガバナンスの取り組み」と題して御講演をいただきました。近年自動車業界や金融業界等様々な業界において不正が発生していることを踏まえ、東邦銀行におけるコーポレートガバナンスの取組を御紹介いただきました。コーポレートガバナンスだけではなく、雇用など様々なお話をいただき、会員企業の皆様にとって有意義な時間となりました。

講演会後は、懇親会を開催、福島県副知事 佐藤宏隆様を来賓に招き、講師の遠藤勝利様も交えて和やかな雰囲気でお話いただき、会員相互の交流を深めました。



相馬会長の挨拶



講師の遠藤勝利氏



令和6年度福島県工業クラブ新年研修会

会員企業紹介コーナー

古河電池株式会社 いわき事業所

- 代表者 ▶ 事業所長 比佐 壮
- 所在地 ▶ 福島県いわき市常磐下船尾町杭出作23-6
- 主な事業 ▶ 自動車用鉛蓄電池・アルカリ蓄電池製造



古河電池(株)は、1914年に横浜電線製造(株)（古河電気工業(株)の前身）で電池製作所を開設以来、110年もの間、蓄電池や電源機器の製造・販売をしております。いわき事業所は、1978年に設立され、主に自動車用鉛蓄電池とアルカリ蓄電池の製造を行っております。

いわき事業所の事務棟や工場の屋根、並びに従業員駐車場に、SDGsの一環として太陽光発電パネルが敷設されており、総発電量は約1,600kwで、発電量の一部を自家消費しております。

これらの活動を評価され、2024年6月、経済産業省資源エネルギー庁の省エネ法の事業者クラス分け制度(SABC評価制度)において、8年連続最高クラスの「Sクラス」評価の優良事業者に認定されました。

当社は「脱炭素社会実現への貢献」を重要課題と位置付け、再生可能エネルギーの活用によるCO₂の削減及び事業活動における省エネの施策・工夫に努めております。



自動車用鉛蓄電池

また、環境対応車用鉛蓄電池や再生可能エネルギーと組み合わせる蓄電システムなどの環境配慮型製品の提供を通じて持続可能な社会の実現を目指しています。

今後も自らの事業活動に伴う環境負荷低減を推進し、併せて環境配慮型製品の提供を通じて真に豊かで持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

第70回福島県発明展表彰

日常生活や産業技術から生まれた、創造性に富む優れた発明・考案・意匠の作品を一堂に展示し、科学技術の振興と産業の発展に寄与することを目的とした「第70回福島県発明展」（主催：福島県、一般社団法人福島県発明協会）が、令和6年10月26日（土）～27日（日）に郡山市労働福祉会館にて開催されました。

当クラブでは、優れた発明に対し「福島県工業クラブ会長賞」を毎年授与しています。

今回は、郡山市の薄井介氏が発明した「支柱用発電装置の設置工法」が受賞し、10月27日（日）に行われた表彰式では、当クラブ副会長であります保土谷化学工業株式会社の武居執行役員郡山工場長より賞状と副賞の記念盾が贈呈されました。



武居副会長による賞状・副賞の贈呈



福島県工業クラブ会長賞受賞作品

新規会員紹介

浅野燃糸株式会社 双葉事業所

所在地 ▶ 福島県双葉郡双葉町中野館ノ内1-1

主な事業内容 ▶ 燃糸製造・タオル販売

浅野燃糸株式会社は、1967年に岐阜県で創業した繊維工業企業で、燃糸（糸を燃り合わせる技術）を活かし、糸の供給やオリジナル製品の開発を行っています。代表的な製品は、2005年に開発された「SUPER ZERO®」（通常の糸を約1.6倍に膨らませる燃糸工法）という糸を使用したやわらかくて、吸水性・乾燥性に優れ、毛羽落ちの少ない高機能タオル「エアーかおる」で、シリーズ累計販売枚数1,900万枚を超える大ヒット商品となりました。

2023年4月には福島県双葉町に新工場「フタバスーパーゼロミル」を開設。工場機能に加え、タオル直営店やカフェも併設し、地域の雇用創出や交流人口の増加等、復興の支援に貢献できることを願っております。

「ナンバーワンよりもオンリーワンを目指す」という理念のもと、独自技術の開発と新市場の開拓に取り組み、国内外に向けて日本の繊維技術を発信していきます。



編集後記

寒さも徐々に和らぎ、春の気配が感じられるようになってきました。

この一年間、会員の皆様の御協力により、令和6年度も各種事業を無事に開催することができました。改めて感謝を申し上げます。

また、11月に実施した視察研修では山口県・広島県の企業を訪問させていただきました。現地の懇親会では山口県の河豚・獺祭や広島県の牡蠣など地元の名産品を嗜むことができ、忘れられない思い出となりました。

事務局一同、当クラブの円滑な運営に努めてまいりますので、今後とも御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

新規会員 募集

工業クラブでは随時会員の募集を行っております。当クラブの趣旨に賛同し、入会を希望される企業にお心当たりがある場合、下記事務局まで御紹介いただければ幸いです。

編集発行／福島県工業クラブ事務局 〒960-8670 福島市杉妻町2-16 福島県商工労働部企業立地課内
TEL (024) 521-7280 FAX (024) 521-7935 E-mail kougyou-k@pref.fukushima.lg.jp
発行／令和7年3月